

# QUARTERLY REPORT

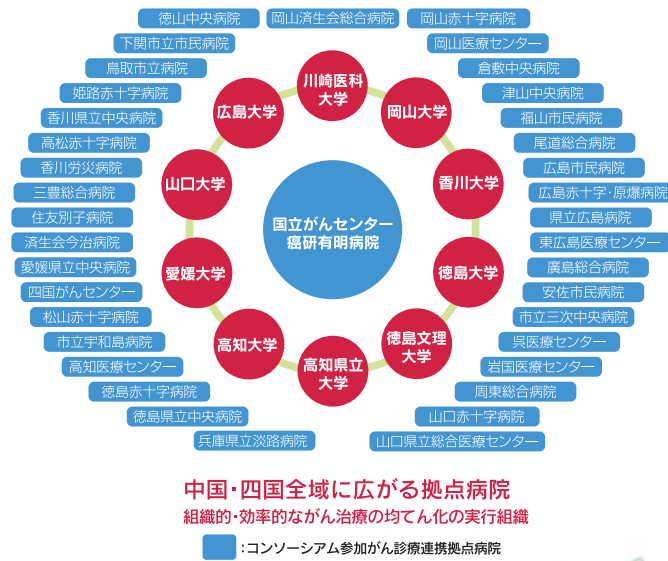


**VOL.43**  
2015. MAR

MANAGING OFFICE  
2-5-1, SHIKATA-CHO, KITA-KU  
OKAYAMA 700-8558 JAPAN  
PHONE:086-235-7023 FAX:086-235-7045  
<http://www.chushiganpro.jp/>

## 趣旨・組織

がんは、わが国の死亡率第1位の疾患ですが、がんを横断的・集学的に診療できる専門家が全国的に少なく、その養成が急務とされています。また、近年の高度化したがん医療の推進は、がん医療に習熟した医師、薬剤師、看護師、その他の医療技術者等(メディカルスタッフ)の各種専門家が参画し、チームとして機能することが何より重要です。そのため、がん医療の担い手となる高度な知識・技術を持つがん専門医師及びがん医療に携わるコメディカルなど、がんに特化した医療人の養成をおこなうため、大学病院等との有機的かつ円滑な連携のもとにおこなわれる大学院のプログラムが「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」です。



● コンソーシアム参加がん診療連携拠点病院  
● 参加大学・がんセンター

## ごあいさつ

本プランは、中国・四国地域に位置する10大学がひとつのコンソーシアムを作り、各大学院に多職種のがん専門医療人養成のためのコースワークを整備し、これに地域の37のがん診療連携拠点病院が連携することにより、広い地域にムラなくがん専門医療人を送り出すことを目的としています。

がんに関わる多職種の専門医療人が有機的に連携し、チームとしてがん診療ならびに研究にあたることのできるよう職種間共通コアカリキュラムの履修を出発点として教育研修をおこないます。また、国内外のがんセンターと連携し指導的ながん専門医療人養成のためのファカルティ・ディベロップメント(FD)を運動させ、大学院教員の教育能力を強化しています。

各大学・地域の持つ特色を活かし、互いに補完・止揚する教育拠点を確立します。高度なレベルで標準化された共通コアカリキュラムおよびeラーニングによる域内統一教育(共育)と、大学間連携による大学、分野、職種をこえた専門職連携教育(協育)をおこないます。また、英語教育と海外先進施設との連携により国際的に活躍する医療人の養成と、地域医療機関・患者会との連携による在宅高齢者がん医療に貢献する専門医療人の養成をおこないます。これらの活動を通じて高度な専門知識に加え、チーム医療・リサーチマインドを身につけた全人的高度がん専門医療人が多数輩出され、中国・四国地域におけるがん治療の均てん化、標準化が実現され、各大学、地域における臨床研究や橋渡し研究の活性化を目指します。

当コンソーシアム事務局では、講演会、海外研修学生募集などの情報を広く発信することを目的としたクォーターリーレポートを発行しています。

本誌をきっかけに、大学院入学や各種セミナーへの参加等をご検討いただければ幸甚に存じます。

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム  
事務局



## 平成26年度 第2回がん高度実践看護師WG講演会開催

がん患者の治療・療養・生活過程を支える高度な看護実践の展開  
～緩和ケアと高度な看護実践～

日 時:平成26年12月20日(土)13:00～17:00

場 所:岡山コンベンションセンター 3階コンベンションホール

参加者:444名

総 合 司 会:宮下 美香(広島大学大学院)

講演会司会:藤田 佐和(高知県立大学大学院)、 齊田 菜穂子(山口大学大学院)

がん高度実践看護師WG講演会では、ケアとキュアの融合を根幹に5年間の全体テーマを「がん患者の治療・療養・生活過程を支える高度な看護実践の展開」とし、1年単位でシリーズ化した講演会を年2回企画しています。平成26年度は「緩和ケアと高度な看護実践」をテーマに、第1回は、緩和ケアについての基本的知識やがんの痛みの緩和とセルフケア支援について、2名の講師をお招きし、講演会を開催しました。第2回は、中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアムから誕生したがん看護専門看護師3名を講師としてお招きし、がん患者さんが体験する代表的な症状(呼吸困難、倦怠感と食欲不振、精神症状)への対応やセルフケア支援について、講演して頂きました。がん高度実践看護師コースの修了生の講師として成長した姿は、がん高度実践看護師WGの教育成果の一つとして感慨深いものがありました。

## 【講演者】

・奥野 梨沙 氏

鳥取大学医学部附属病院 がん看護専門看護師  
「症状マネジメントモデルと呼吸困難への対応」

・坂出 由美子 氏

岡山大学病院 がん看護専門看護師  
「倦怠感、食欲不振への対応とセルフケア支援」

・門田 麻里 氏

大阪府立成人病センター がん看護専門看護師  
「精神症状のアセスメントと症状緩和」

## 【終了報告】

第2回がん高度実践看護師WG講演会は、中国・四国全域から444名の方々にご参加頂き、盛況のうちに終了しました。講演会は、がん看護専門看護師の症状のメカニズムや支援の実際に興味深く耳を傾ける参加者の熱気に包まれ、緩和ケアにおける高度な看護実践への関心やニーズの高さを実感することができました。

経験を積み重ねたがん看護専門看護師のがん患者の治療・療養・生活過程を支える高度看護実践について、具体的事例を通して、アセスメントの視点やアプローチ方法に加え、それぞれのがん看護専門看護師が大切にしていることや



谷本先生の挨拶



総合司会の宮下先生



主催者挨拶をする藤田先生



司会の藤田先生と齊田先生

看護観についても学ぶことができました。参加者からは、「具体的な項目や事例紹介により、より深く理解することができた」、「実践につながりやすかった」、「症状マネジメントモデルを実際に現場で活用したことがなかったため改めて考えていくことが必要と感じた」など、多数のご意見を頂きました。

## 【全体のサマリー】

奥野 梨沙 氏

がん患者が体験する症状と症状マネジメントモデルの考え方について、お話し頂きました。症状は主観的な体験であり、患者が体験している症状を緩和することにより、患者にとってよいQOLの状態を保つようにすることが目標になること、そのため、看護師が専門的な知識と技術を持って症状マネジメントに取り組む役割の重要性について説明されました。症状マネジメントモデルの具体的な説明を通して、患者の症状体験を聴き、正しく理解すること、患者がセルフケアできるように、基本的知識や技術、看護サポートを提供する看護の視点を学ぶことができました。また、がん患者の呼吸困難について、主観的な経験であり、要因は複雑で多岐にわたるため、多側面のアセスメントおよびアプローチが重要であると述べられ、具体的な方法について説明されました。また、事例を通して、呼吸困難を体験している患者のアセスメントやマネジメントへの支援について理解を深めることができ、より具体的な学びが得られました。

坂出 由美子 氏

患者が体験している倦怠感を正確にアセスメントするために、患者に意図的に問いかけ、身体的な要因だけでなく精神的、治療的、社会的要因や、家族の情報、客観的側面など、包括的アセスメントの重要性を述べられました。また、倦怠感と折り合いをつけて生活できるように支援する方法として、患者自身が倦怠感をマネジメントする支援について具体的に説明されました。そして、患者の対処する力をアセスメントし、個々の生活を見据えて対処する力を支え、強める看護について学ぶことができました。食欲不振についても、主観的な感覚として理解し、治療と看護を組み合わせることで対応することが重要であると述べられ、看護師によるアセスメントの重要性を再認識することができました。食欲不振に対するセルフケア支援において、患者の食への思いや意味の捉えを聴く中に患者の対処があり、それを支える大切さを強調されました。また、事例を通して、倦怠感と食欲不振に対するアセスメントや治療と看護を組み合わせる具体的な対応についての理解を深め、実践に活用できる学びを得ることができました。

門田 麻里 氏

がん患者に出現しやすい不安、抑うつ、せん妄の症状緩和についてお話頂きました。不安については、原因や症状の程度に応じて、身体的苦痛の緩和を優先しながら、精神療法、薬物療法、代替療法、集団療法を組み合わせるこ



会場の様子



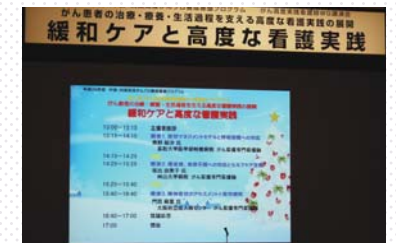
奥野 梨沙OCNS



坂出 由美子OCNS



門田 麻里OCNS



会場の様子

## 活動報告

とを説明されました。また、がん治療中の抑うつは見逃されやすいため、危険因子も踏まえ、スクリーニング・ツールを用いてアセスメントする重要性が述べられました。抑うつ治療として、看護の役割が大きい精神療法や、薬の特徴、評価の視点など看護の側面から薬物療法について具体例を用いた説明から理解を深めるとともに看護師の役割の重要性を再認識することができました。せん妄については、裏に隠れている身体的苦痛を予測する重要性を強調され、直接因子の除去や軽減、誘発因子への対策、家族への対応など、せん妄の治療や目標の考え方について説明されました。また、せん妄を体験している患者のアセスメントや対応方法について、事例を通して実践につながる知識として理解を深めることができました。



質疑応答の様子

## 【参加者アンケート結果】

参加者444名のうち338名から回答を頂きました(回答率76.1%)。96.1%の参加者が、メインテーマ「がん患者の治療・療養・生活過程を支える高度な看護実践の展開～緩和ケアと高度な看護実践～」に関心を持って参加され、93.5%の参加者から講演内容について満足したという回答が得られました。このことから、看護を実践する上で、がん患者の症状緩和に対する看護者のニーズや意識は高いこと、また、講演会は参加された方々のニーズを満たす内容であったと考えました。また、参加者の約半数(53.2%)は、がん診療連携拠点病院に所属しており、89.0%の参加者が、がん看護の専門的な学習意識を高める動機づけに、75.2%の参加者が、がん看護のキャリアアップをめざす動機づけになったと回答していたことから、がん医療における質の高いがん看護実践の推進を目的とする講演会としては成果を上げていると評価できました。

講演の内容で役立つと思われた内容について、「倦怠感、食欲不振への対応とセルフケア支援」、「症状マネジメントと呼吸困難への対応」、「精神症状のアセスメントと症状緩和」など10項目が挙げられ、各症状のアセスメントやケアがいずれも役立つと評価されていました。また、講演内容について、92.0%の参加者が具体的に理解することができたと評価しており、参加者から「毎回自分の看護を見直すいい機会です。個人の学習範囲内での看護を提供することしかできず、もどかしい思いでいっぱいです」、「当院にはがん看護専門看護師がおりませんが、研修会に参加して意識を高めることができました」という声が聞かれました。このことから、現場で日々困難感や悩みを抱えながら実践している看護師にとって、今回の講演会は、実践に活かすことができる具体的な知識や学びを得る貴重な機会になったと考えられました。講義内容の希望として、末期がん患者の在宅移行支援や終末期の高齢者がん患者の支援、看護師のグリーフケアなど、たくさんのご意見を頂きました。また、「教科書に書いてあるような内容が多かったように思うので、行っている具体的アセスメントやケア方法などをもっと教えていただきたいかった」、「もっと事例や対応を聞きたかった」という声も複数聞かれたため、今後の講演会の開催に向けての課題として取り組んで行きたいと思えます。

今回の第2回講演会は、日々の看護実践を支える知識や学びが得られる有意義な講演会であったと評価することができました。今後も質の高い看護実践につながる講演会を積み重ねて行きたいと考えています。次年度は「がんリハビリテーションと高度な看護実践」をメインテーマとして、7月12日(日)と12月19日(土)に開催を予定しております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

文責：高知県立大学大学院看護学研究科 藤田 佐和

## 広島 がん医療従事者研修会

## 「緩和治療薬の使い方・考え方：最近のエビデンス」

日時：平成26年11月13日(木) 18:30～  
場所：広島大学医学部 広仁会館  
参加者：77名

座長 広島大学病院  
がん化学療法科 教授 杉山 一彦 先生

## 「緩和治療薬の使い方・考え方：最近のエビデンス」

聖隷三方原病院 副院長 緩和支援治療科 森田 達也 先生

## 終了報告

聖隷三方原病院副院長緩和支援治療科の森田達也先生に「緩和治療薬の使い方・考え方：最近のエビデンス」について講演いただき、質疑応答を行った。



## 愛媛 第2回 愛媛大学がんプロフェSSIONAL養成インテンシブコース講習会

日時：平成26年11月21日(金) 18:00～19:30  
場所：愛媛大学医学部 臨床第2講義室  
参加者：52名

## 特別講演1

座長 愛媛大学医学部附属病院 看護師長 山内 美砂子

演題 「がん治療・生殖医療における看護師の役割」

愛媛大学医学部附属病院 総合診療サポートセンター(外来化学療法室)  
がん化学療法看護認定看護師 中内 香菜

演題 「がん患者における卵子凍結の現状」

愛媛大学医学部附属病院 産婦人科学 小泉 雅江

## 特別講演2

座長 愛媛大学医学部附属病院 産科婦人科学 講師 松元 隆

演題 「卵巢癌の標準治療の変遷」

日本医科大学武蔵小杉病院 腫瘍内科 教授 勝俣 範之

## 終了報告

勝俣先生は、国立がん研究センター中央病院で、長く婦人科腫瘍の臨床と研究に携わってこられた腫瘍内科医です。勝俣先生の特別講演に先立ち、愛媛大学医学部附属病院での、化学療法前の生殖器細胞の保存に向けた取り組みや卵子凍結の現状について、附属病院TMSC(総合診療サポートセンター)で活動する中内香菜看護師と婦人科小泉雅江医師より基調講演がなされました。その後の特別講演では、卵巢がんの集学的治療の歴史を勝俣先生が概説され、更に、現在標準治療とされるPaclitaxel/Carboplatin治療に至る化学療法の変遷を、分かり易く解説されました。また、抗がん剤治療におけるdose-dense療法とは何か、Carboplatin使用時の脱感作療法、造血因子製剤の適切な使用方法など、ご自身の経験を踏まえ多方面の情報提供がなされました。当日は婦人科腫瘍を扱う多くの医療者が参加し、遅くまで議論が行われ、有意義な講演会となりました。



## 岡山 第6回 岡山大学医学物理士インテンシブコース地域連携セミナー(放射線診断)

日 時:平成26年11月26日(水) 19:00~20:30  
場 所:岡山大学病院 総合診療棟5F 第5カンファレンスルーム  
参加者:9名

座長 岡山大学病院医療技術部 大野 誠一郎

【MRIを用いた定量的腫瘍イメージング】  
徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部  
医用画像情報科学分野 金澤 裕樹 先生

フリーディスカッション

### 終了報告

本セミナーでは、市内の関連病院や院内スタッフ・大学院生等を対象に、MRIを用いた定量的腫瘍イメージングと題し、徳島大学大学院の金澤裕樹先生より講義して頂きました。セミナー講義では、MRI撮像技術として注目されている腫瘍イメージングの定量解析を中心に、臨床応用事例を講義して頂き、それらの有用性ととも将来展望についても解説がなされました。大学院相当の内容にもかかわらず、専門資格の取得に向けて大学院生、社会人らが熱心に話を聞く姿勢が見られました。

## 岡山 第12回 岡山大学医学物理士インテンシブコースがん放射線科学セミナー

日 時:平成26年12月3日(水) 19:00~20:30  
場 所:岡山大学病院 総合診療棟5F 第4カンファレンスルーム  
参加者:6名

座長 岡山大学病院医療技術部 放射線部門 青山 英樹

【Khan's Lectures(Chapter 15)】  
岡山大学大学院保健学研究科 笈田 将皇

フリーディスカッション

### 終了報告

本セミナーでは、市内の関連病院や院内スタッフ・大学院生等を対象に、海外の教科書(Khan's Lectures)を取り入れた内容を企画しました。今回のセミナー講義ではChapter15を中心に、低線量率小線源治療用線源、小線源の校正、小線源の線量分布計算、挿入ルール、線量指示と記録について講義がなされました。大学院相当の内容にもかかわらず、社会人にも参加頂いており、放射線治療の国際標準に関心を示せるような環境構築に有用であると考えています。

## 香川 第8回 都道府県がん診療連携拠点病院研修セミナー

### がん化学療法の副作用に関する研修会

日 時:平成26年12月4日(木) 18:20~  
場 所:香川大学医学部 臨床講義棟1階 講義室  
参加者:87名

開会挨拶 香川大学医学部附属病院 病院長 横見瀬 裕保  
総合司会 香川大学医学部附属病院 腫瘍センター長 合田 文則

- 1) がん化学療法における皮膚障害とその対応  
皮膚科学 窪田 泰夫 教授
- 2) 抗がん薬の血管外漏出とその対応  
がん化学療法看護認定看護師 雑賀 美和 副師長
- 3) 分子標的薬剤によるスキントラブルとそのケア  
皮膚・排泄ケア認定看護師 納田 広美 副師長

### 終了報告

化学療法時の血管外漏出について、皮膚科専門医からの皮膚障害とその対応について医学的な考察での講義、また認定看護師からは実際に皮膚トラブル時の対処について具体的で、わかりやすい内容でご講演いただいた。いろいろな立場からのアプローチができたと思われる。



## 岡山 第13回 岡山大学医学物理士インテンシブコースがん放射線科学セミナー

日 時:平成26年12月10日(水) 19:00~20:30  
場 所:岡山大学病院 総合診療棟5F 第4カンファレンスルーム  
参加者:6名

座長 岡山大学大学院保健学研究科 笈田 将皇

【Khan's Lectures(Chapter 16)】  
岡山中央病院 放射線がん治療センター 中山 真一

フリーディスカッション

### 終了報告

本セミナーでは、市内の関連病院や院内スタッフ・大学院生等を対象に、海外の教科書(Khan's Lectures)を取り入れた内容を企画しました。今回のセミナー講義ではChapter16を中心に、放射線防護と遮蔽、等価線量、実効線量、自然放射線、放射線施設の遮蔽設計、放射線モニタリングなどについて講義がなされました。大学院相当の内容にもかかわらず、社会人にも参加頂いており、放射線治療の国際標準に関心を示せるような環境構築に有用であると考えています。

## 山口 第9回 がん治療スキルアップコース(インテンシブ)セミナー

日時: 平成26年12月6日(土) 15:45~17:45  
 場所: 山口大学医学部附属病院 第2病棟6階 カンファレンス室  
 参加者: 34名

挨拶: 山口大学医学部附属病院腫瘍センター 准教授 吉野 茂文 先生  
 司会: 山口大学医学部附属病院腫瘍センター 助教 松元 満智子 先生

事例1: **大学病院から在宅緩和ケアへ移行した腎盂がん症例**  
 山口大学医学部附属病院 泌尿器科 藤川 公樹 先生  
 山口大学医学部附属病院 看護部 山見 美央 先生  
 ニチイケアセンター西岐波 飯田 和恵 先生

事例2: **大学病院から在宅、緩和ケア病棟へ移行した歯肉がん症例**  
 山口大学医学部附属病院 歯科口腔外科 堀永 大樹 先生  
 やまもとクリニック 院長 山本 光太郎 先生  
 山口宇部医療センター 緩和ケア内科 片山 英樹 先生

### 終了報告

この度、切れ目のない緩和ケアを実現するために、事例検討を通じて顔の見える緩和ケア連携体制の構築及び連携強化を図ることを目的とした第9回がん治療スキルアップコースセミナーを開催した。

はじめに山口大学医学部附属病院 腫瘍センター 准教授 吉野 茂文先生より開会の挨拶があった。次に、山口大学医学部附属病院 腫瘍センター助教 松元 満智子先生を司会として、各施設より事例提示があった後、ディスカッション形式で全体討議を行った。

参加者からは、「自宅に戻られてからの様子が良く分かった」、「多職種の立場で専門的な発表が聞けてとても勉強になった」、「病棟での患者さんの病態や様子を振り返ることができた」、「自宅へ退院してから家族との関わりや本人の様子を確認することができた」など多くの意見が寄せられた。院外からも多職種の医療従事者の出席もあり有意義な検討会であった。



## 山口 第10回 がん治療スキルアップコース(インテンシブ)セミナー

テーマ: 看護師(RN)から求められるがん看護専門看護師(OCNS)の機能と実践

日時: 平成26年12月12日(金) 17:30~19:00  
 場所: 山口大学医学部 総合研究棟8階 多目的室  
 参加者: 11名

司会: 山口大学大学院医学系研究科保健学系学域看護学分野  
 教授 齊田 菜穂子 先生

講演Ⅰ: 「6つの役割を明確にした実践」  
 福岡大学病院 がん看護専門看護師 鶴崎 まり子 先生

講演Ⅱ: 「がん看護専門看護師の活動  
 ~活動の場を広げるためのアプローチ~」  
 久留米大学病院 がん看護専門看護師 塗木 京子 先生

### 終了報告

この度、福岡県の大学病院から2名のがん看護専門看護師をお招きし、「看護師(RN)から求められるがん看護専門看護師(OCNS)の機能と実践」をテーマに講演いただいた。

セミナーでは、「6つの役割を明確にした実践」と題して、福岡大学病院 がん看護専門看護師 鶴崎 まり子先生、「がん看護専門看護師の活動~活動の場を広げるためのアプローチ~」と題して、久留米大学病院 がん看護専門看護師 塗木 京子先生に講演いただいた。

6つの役割では、実践、コンサルテーション、倫理調整、調整、教育、研究について話され、また、がん看護専門看護師の活動の場を広げるためには、CNS自身がやるべきことと看護管理者に望むことについて話された。

専門的なセミナーではあるが、学外からの参加者もあり、資格取得のための大学院入学及びがんプロの広報にもつながる有意義なセミナーであった。



## 岡山 第7回 岡山大学医学物理士インテンシブコース地域連携セミナー(放射線診断)

日 時:平成26年12月17日(水) 19:00~20:30  
場 所:岡山大学病院 総合診療棟5F 第5カンファレンスルーム  
参加者:9名

座長 岡山大学病院医療技術部 大野 誠一郎

「当院における心臓MRIについて」  
倉敷中央病院 放射線センター 中河 賢一 先生

フリーディスカッション

### 終了報告

本セミナーでは、市内の関連病院や院内スタッフ・大学院生等を対象に、MRIを用いた定量的腫瘍イメージングと題し、倉敷中央病院の中河賢一先生より講義して頂きました。セミナー講義では、最新のMRI撮像技術として注目されている心臓MRイメージングの撮像法および定量解析を中心に、臨床応用事例を講義して頂き、それらの有用性ととも将来展望についても解説がなされました。大学院相当の内容にもかかわらず、専門資格の取得に向けて大学院生、社会人らが熱心に話を聞く姿勢が見られました。



## 岡山 第14回 岡山大学医学物理士インテンシブコースがん放射線科学セミナー

日 時:平成27年1月7日(水) 19:00~20:30  
場 所:岡山大学病院 総合診療棟5F 第4カンファレンスルーム  
参加者:6名

座長 岡山大学病院医療技術部 放射線部門 青山 英樹

「Khan's Lectures(Chapter 17,18)」  
岡山大学大学院保健学研究科 笈田 将皇

フリーディスカッション

### 終了報告

本セミナーでは、市内の関連病院や院内スタッフ・大学院生等を対象に、海外の教科書(Khan's Lectures)を取り入れた内容を企画しました。今回のセミナー講義ではChapter17,18を中心に、放射線治療の品質保証・品質管理、全身照射の治療技術や線量測定法などについて講義がなされました。大学院相当の内容にもかかわらず、社会人にも参加頂いており、放射線治療の国際標準に関心を示せるような環境構築に有用であると考えています。



## 徳島 第7回 徳島がん医療に携わる医師のためのコミュニケーション技術研修会

日 時:平成27年1月10日(土)~11日(日)  
1日目10:00~18:05  
2日目 9:00~15:30  
場 所:徳島大学医学部 会議室及びスキルス・ラボ  
参加者:13名

内 容  
難治がん、再発、抗がん治療の中止など悪い知らせを患者(小児では親)に伝えるロール・プレイ

### 終了報告

20代・30代・40代と世代が異なり、自身のコミュニケーション・スタイルを振り返りつつ、各世代での違いも反映された活発な議論がなされた。初日は緊張もあつてか自身のスタイルを変化させることが難しかったが、2日目はSHAREをベースにして患者への共感・配慮を示した。患者から話を聴くことで、アドバンスト・ケア・プランへの対応も学ばれた。受講者の今後の活躍が期待される研修会であった。参加者からは、「初日に日頃の自分のコミュニケーション・スタイルを変えることで、大きな気づきが得られた。2日目は、それをベースに自分の専門分野でのコミュニケーションに取り組むことができた。」「実臨床にも応用できるたくさんの気づきが得られた。」「参加して良かった。是非他のDr.にも勧めたい。」等いずれの受講者からも高評価を頂いた。



## 岡山 第15回 岡山大学医学物理士インテンシブコースがん放射線科学セミナー

日 時:平成27年1月14日(水) 19:00~20:30  
場 所:岡山大学病院 総合診療棟5F 第4カンファレンスルーム  
参加者:9名

座長 岡山大学大学院保健学研究科 笈田 将皇

「Khan's Lectures(Chapter 19,20)」  
岡山中央病院 放射線がん治療センター 中山 真一

フリーディスカッション

### 終了報告

本セミナーでは、市内の関連病院や院内スタッフ・大学院生等を対象に、海外の教科書(Khan's Lectures)を取り入れた内容を企画しました。今回のセミナー講義ではChapter19,20を中心に、放射線治療計画装置の特徴、線量計算アルゴリズム、3次元線量表示、IMRTの特徴とコミッショニング、治療計画技術などについて講義がなされました。大学院相当の内容にもかかわらず、社会人にも参加頂いており、放射線治療の国際標準に関心を示せるような環境構築に有用であると考えています。



広島

## IAEA/RCA Regional Training Course

## An update on Advanced Technologies in Radiotherapy

日 時:平成27年1月19日(月)~22日(木)  
場 所:オリエンタルホテル広島ほか  
参加者:41名

広島大学大学院放射線腫瘍学  
教授 永田 靖 先生 ほか12名

## 終了報告

広島大学などで行う放射線被曝者医療国際協力推進協議会(HICARE)は国際原子力機関(IAEA)と合同で、高精度放射線治療の研修会を行った。東南アジアを中心に18ヶ国から医師や研究者の参加があり、最先端のがん放射線治療についての講義、実習及び施設見学などを行った。



高知

## 第6回 がんプロ国際セミナー

## テーマ:地域医療について

日 時:平成27年1月22日(木) 18:00~  
場 所:高知大学医学部 低侵襲手術教育・トレーニングセンター  
参加者:41名

台湾大学生とがんプロ学生・看護学科学生が、台湾と高知の地域医療・在宅医療について英語でディスカッションします。

## 終了報告

日本のがん医療と看護の現状や台湾でのホスピスケア、コンゴでのマラリア対策などの経験について、英語でプレゼンテーションおよびディスカッションをしました。参加者からは「医療制度も慣習も全く異なる2つの医療を比べることで、日本で活かせるようなアイデアや新しい形を知ることができてよかったと思います。」「金山のホスピスケアやコンゴのマラリア対策などを知ることができてよかった。台湾の学生さんの考えや意見も伺う機会になりました。」などの感想がありました。



岡山

## 第16回 岡山大学医学物理士インテンシブコースがん放射線科学セミナー

日 時:平成27年1月28日(水) 19:00~20:30  
場 所:岡山大学病院 総合診療棟5F 第4カンファレンスルーム  
参加者:9名

座長 岡山大学病院医療技術部 放射線部門 青山 英樹

Khan's Lectures(Chapter 21,22)  
岡山大学大学院保健学研究科 笈田 将皇

フリーディスカッション

## 終了報告

本セミナーでは、市内の関連病院や院内スタッフ・大学院生等を対象に、海外の教科書(Khan's Lectures)を取り入れた内容を企画しました。今回のセミナー講義ではChapter21,22を中心に、定位照射の特徴と線量測定技術、線量計算アルゴリズム、品質管理および高線量率小線源治療の特徴、治療計画技術などについて講義がなされました。大学院相当の内容にもかかわらず、社会人にも参加頂いており、放射線治療の国際標準に関心を示せるような環境構築に有用であると考えています。

岡山

## 第17回 岡山大学医学物理士インテンシブコースがん放射線科学セミナー

日 時:平成27年2月4日(水) 19:00~20:30  
場 所:岡山大学病院 総合診療棟5F 第4カンファレンスルーム  
参加者:7名

座長 岡山大学病院医療技術部 放射線部門 青山 英樹

[Khan's Lectures(Chapter 23,24)]  
岡山大学大学院保健学研究科 笈田 将皇

フリーディスカッション

## 終了報告

本セミナーでは、市内の関連病院や院内スタッフ・大学院生等を対象に、海外の教科書(Khan's Lectures)を取り入れた内容を企画しました。今回のセミナー講義ではChapter23,24を中心に、前立腺小線源治療法および血管内照射法の特徴と線量測定技術、線量計算アルゴリズム、品質管理などについて講義がなされました。大学院相当の内容にもかかわらず、社会人にも参加頂いており、放射線治療の国際標準に関心を示せるような環境構築に有用であると考えています。





川崎

## インテシブ生涯教育コース

川崎医科大学附属病院がんセンター 第16回 Cancer Seminar合同講演会

テーマ:「検査で判ること判らないこと」

日 時:平成27年2月7日(土) 13:30~16:00  
場 所:川崎医科大学 校舎棟7階 M-702教室  
参加者:49名

司会:川崎医科大学放射線医学(治療) 教授 平塚 純一 先生

講演1:「消化器領域 -胃がんと腫瘍マーカー」

川崎医科大学消化器外科学 准教授 松本 英男 先生

講演2:「画像診断 -PET, CT, MRI」

川崎医科大学放射線医学(画像診断1) 准教授 玉田 勉 先生

講演3:「病理診断 -良悪性診断困難な病変」

川崎医科大学病理学2 准教授 鹿股 直樹 先生

講演4:「乳腺領域 -乳がんと検査」

川崎医科大学乳腺甲状腺外科学 講師 山本 裕 先生

## 終了報告

がん医療関係者の生涯教育を目的として開催された。今回は、テーマを「検査で判ること判らないこと」とし、「消化器領域-胃がんと腫瘍マーカー」「画像診断-PET,CT,MRI」「病理診断-良悪性診断困難な病変」「乳腺領域-乳がんと検査」として、CEAとCA19-9についての一般的知識、PET-CTのがん検出能、副腎皮質腫瘍の良悪性診断、乳がん診療の流れと診断後に必要な検査などが紹介された。



岡山

## 第5回 岡山大学医学物理士インテシブコース地域連携セミナー(放射線治療)

日 時:平成27年2月18日(水) 19:00~20:30  
場 所:岡山大学病院 総合診療棟5F 第4カンファレンスルーム  
参加者:16名

座長 岡山大学大学院保健学研究科 笈田 将皇

「医療用リニアックの構造と物理」

エレクトラ株式会社  
メディカルフジックス部 岩井 良夫

フリーディスカッション

## 終了報告

本セミナーでは、市内の関連病院や院内スタッフ・大学院生等を対象に医療用リニアックの構造と物理と題し、エレクトラ株式会社の岩井良夫先生より、加速器工学について講義して頂きました。セミナー講義では、医療で利用されている線形加速器の部品およびそれらの構造や作動原理について詳細をお話し頂き、その後、旧来の部品と現在の部品の違いやベンダー間での特徴の違いなどについてとてもわかりやすく説明をして頂きました。また実務での研究支援などについても事例をお話し頂きました。大学院相当の工学的な内容にもかかわらず、専門資格の取得に向けて大学院生、社会人らが熱心に話を聞く姿勢が見られました。



広島

## 県民公開シンポジウム

「広島がん高精度放射線治療センターがつくるがん医療の新しいかたち」

日 時:平成27年2月15日(土) 13:30~16:15  
場 所:広島国際会議場 フェニックスホール  
参加者:909名

基調講演:「明るくさわやかに生きる」

歌手・日本対がん協会「ほほえみ大使」  
アグネス・チャン 先生

センター紹介:「がん放射線治療の新しいかたち」

広島大学大学院放射線腫瘍学  
教授 永田 靖 先生

パネル討論:「センターの取り組みについて」

広島大学大学院放射線腫瘍学  
助教 権丈 雅浩 先生 ほか3名

## 終了報告

「基調講演」では、歌手・日本対がん協会「ほほえみ大使」アグネス・チャンさんに「明るくさわやかに生きる」をテーマにご講演いただいた。自らの乳がんの放射線治療体験をもとに、患者の立場からとても分かりやすい内容であった。

「センター紹介」では、広島大学大学院放射線腫瘍学教授永田靖先生に「がん放射線治療の新しいかたち」をテーマに本年10月開院予定のセンター紹介を行っていただいた。

「パネル討論」では、放射線治療に携わる医師などセンターに就任予定の4名の演者が、事前に参加者から受け付けた「がん放射線治療」に関する質問について、わかりやすく解説を行った。



広島

## PHITS講習会

日 時:平成27年2月21日(土) 9:15~17:00  
場 所:広島大学 霞キャンパス 医学部第4講義室  
参加者:22名

講師 橋本 慎太郎 先生、古田 琢哉 先生(日本原子力研究開発機構)

## 終了報告

昨年に引き続き、日本原子力研究開発機構の橋本慎太郎先生、古田琢哉先生を招いて、PHITS講習会を開催した。リニアックにより生成されるX線のデータをまとめたIAEA phase space fileをPHITSで使用方法について講義を行い、参加者からの質疑応答を行った。国内で行われるPHITS講習会で放射線治療に特化した応用コースを開催しているのは、広島大学だけであり、本講習会の意義は大きい。



# 参加大学

## Consortium Member



### 川崎医科大学 Kawasaki Medical School

がん専門医養成コース  
●学務課教務係  
TEL(086)464-1012



### 岡山大学 Okayama University

がん専門医養成コース・がんプロ在宅高齢看護とコース  
精神腫瘍医コース  
●医歯薬学総合研究科専攻学務課教務グループ大学院担当  
TEL(086)235-7986

がん専門・指導医養成コース  
●医歯薬学総合研究科専攻学務課教務グループ担当  
TEL(086)251-7923

高度実践看護師(がん看護)コース  
がん放射線科学コース  
●医歯薬学総合研究科専攻学務課教務グループ保健学研究科担当  
TEL(086)235-7984



### 広島大学 Hiroshima University

がん専門医養成コース  
がん専門医養成コース  
がん看護高度実践看護師養成コース  
医学物理士養成コース  
●医歯薬学総合研究科専攻学務課教務グループがんプロ事務局  
TEL(082)257-1538



### 山口大学 Yamaguchi University

腫瘍外科アドバンスコース  
腫瘍内科アドバンスコース  
放射線治療アドバンスコース  
研修医腫瘍専門医コース  
高度実践看護師(がん看護)コース  
●医学部学務課大学院教務係  
TEL(0836)22-2058



### 愛媛大学 Ehime University

臨床腫瘍学教育課程がん専門医養成コース  
●医学部学務課大学院チーム  
TEL(089)960-5868



### 高知県立大学 University of Kochi

がん高度実践看護師(APN)養成コース  
●学生課大学院担当  
TEL(088)847-8580



### 高知大学 Kochi University

臨床腫瘍医内科学コース  
放射線治療専門医コース  
臨床腫瘍医外科系コース  
がん専門医養成コース  
医学物理士養成コース  
●医学部・病院事務部学生課大学院担当  
TEL(088)880-2263



### 香川大学 Kagawa University

腫瘍内科系専門医養成コース  
緩和医療専門医養成コース  
腫瘍外科系専門医養成コース  
放射線治療専門医コース  
●医学部学務課学務室大学院入学試験係  
TEL(087)891-2074



### 徳島文理大学 Tokushima Bunri University

がん専門医養成コース  
●香川キャンパス庶務渉外グループ  
TEL(087)894-5111



### 徳島大学 Tokushima University

臨床腫瘍内科学コース・臨床腫瘍放射線医学コース  
臨床腫瘍外科系コース・臨床腫瘍栄養学コース  
●医歯薬事務部学務課大学院係  
TEL(088)633-9649  
臨床腫瘍養育師コース  
●医歯薬事務部学務課学務係  
TEL(088)633-7247  
臨床腫瘍看護学コース・医学物理学コース  
●医歯薬事務部学務課第二教務係  
TEL(088)633-9009

### 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム Vol.43

- 編集兼発行者  
中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム事務局  
TEL 086-235-7023 info@chushi.ganpro.jp
- 印刷所  
有限会社 ファーストプラン